

参加者のアンケートでは8割以上が「非常によかった」と答えてくれました（回収率6割）。以下、感想を抜粋します。

（1）近隣住民の方

●地域に参加の窓口を開いてくださった堺東高校のみなさんに感激しました。戦争体験を知る人が少なくなっている中で、若い人が平和に関心を持ち、行動されていることに希望を見出します。未来に、平和につながる講演でした。ありがとう。（70代）

●地域の学校でこのような企画がされているというのを知り、ものすごく心強くうれしくなりました。（自分が高校生時にはこんな授業がなかったのでうらやましいです）…若いみなさんの輪に参加させてもらえて勇気をいただきました。（40代）

●晴美台校区の自治連合会の会報で案内されていたので聞いてみようと思いました。レザさんの直接の話を聞いて驚きました。戦争で犠牲になるのは女性や子どもが多い。高校生がこんな企画をしてくださってありがとう。（60代）

（2）保護者・ご家族の方

●高校生の皆さんが司会から通訳まで(!)自ら取り組まれた企画力に驚きました。「タリバンの20人とくらべて僕らは15人とみなさん」ということばに感動しました。これからもしっかり勉強を続けてください。（50代 卒業生の母）

（3）高校生・若者

●アフガニスタンにはテロリストたちがたくさんいるからアメリカが攻撃しているんだと、ただただ単純に考えていました。だけど今日の西谷さんの講演で、攻撃を繰り返していた背景には色々な理由があり、それが今の今までの現状を引き起こしているのだと理解しました。これからこういうことに興味を持って調べたりしようと思いません。（堺東高校生）

●今まで戦争といったら広島と長崎しか学校では習ってなかったし、ニュースでも戦争しているという事実しか放送されず、表面的にしか知らなかった。…レザさんの話はすごかった。（子どもたちが不発弾で遊び、亡くなる話を聞いて）たしかに子どもは「危険」と言われても遊んでしまうと思う。…僕らの世代が少しでも関心を持って成長して、全世界の子どもたちが戦争を知らないという世界を作り上げたいと思った。（堺東高校生）

●妹が国際理解の授業をとっていて教えてもらった。実際に現地に行かれた西谷さんやそこで生活されていたレザさんの話を聞いてよかった。すごく興味があるので実際に世界に行って世界を見て自分にできることを探したいという思いが強まった。（20代）

(4) 教員の方

●手作り感満載で自分たちで作り上げた「会」というのが、びんびんに伝わってきました。聴衆に向かって語りかけることばも通訳されたことばも、「自分(たち)のことば」となっていました。…(見学に来られた京都の教員)

●写真の迫力、生徒の作ったビラ、心意気と頑張りを聞いて、西谷さんのお話を聞きたいと思いました。知らない世界を知って、それを感じて、一步を踏み出すこと。たとえそれが小さい一步でも心の中にしっかり残り、次のステップになると思います。…豊かな世界(物質だけでなく)を作っていくのに若い人の力が必要なんだとつくづく思いました。私も大人のひとりとして、少しでも世界を知ってよくしていきたいと思いました。すごいね。堺東の高校生たち!(本校教員)

●卒業間近に3年生が企画したというので参加しました。戦争のこと平和のこと、当たり前のように思って生活している中で、授業で学んだ事を自分たちだけのものにしなくてこのような場を持ってくれ、またそこまで育ててくれた39期生に誇りを持っています。

みんなが言うようにこれは最初の一步で、関心を持ち続けることがいかに難しいかと思えます。私も含め、これからも自分の生活や与えられたことに一生懸命取り組むとともに、世界で今起こっていることにも目を向け考えていきたいと思えます。3年生のみんなも一步だけに終わらず、自分にできることを考えて行ってほしいです。(本校教員)